

GTEC

スピーキングとライティング
解答分析結果に関する報告書

2024年4月

目次

1.	分析の概要	p.3
2.	分析項目	p.4
3.	分析方法	p.5
4.	分析結果の見方	p.6
5.	Speaking Advanced	p.7
6.	Speaking Core	p.11
7.	Writing Advanced	p.15
8.	Writing Basic	p.20
9.	Writing Core	p.25

Appendix

問題サンプル	p.30
--------	------

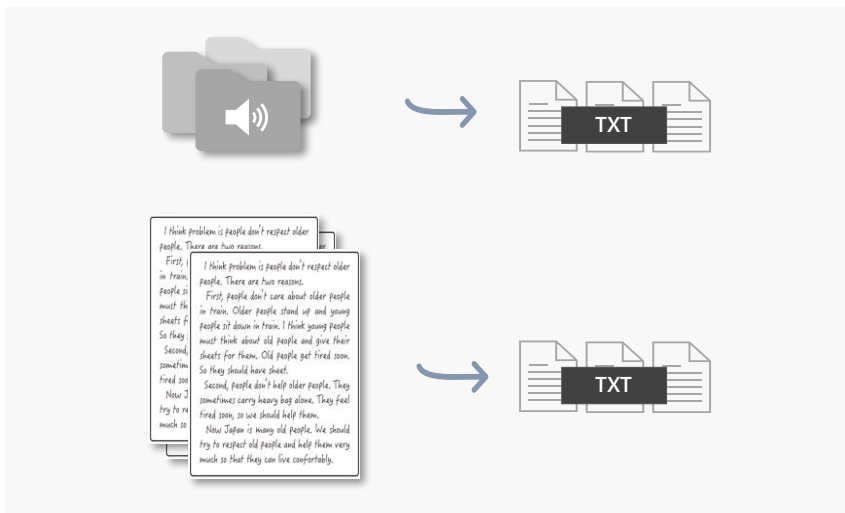
1. 分析の概要

「スコアや採点結果が返ってきた後に、どのように復習させたり、次に向けてどのように学習させればよいかわからない。」

というお声を学校の先生からいただきました。

スピーキングのパートD「自分の意見を述べる問題」の解答音声データと、ライティングのパートB「意見展開問題（エッセー）」の答案画像データをテキスト化し、テキストデータの分析を行いました。スピーキングは「総語数」と「異なり語数（重複する単語を除いた語数）」、ライティングは「総語数」、「異なり語数」、「1文あたりの平均語数」の項目で分析を行った結果を、CEFRレベルごとに掲載します。

次に何を意識して学習すればよいかについて、1つ上のCEFRレベルの傾向が参考になれば幸いです。



技能	パート	内容	分析項目		
スピーキング	D	自分の意見を述べる問題	総語数	異なり語数	
ライティング	B	意見展開問題	総語数	異なり語数	1文あたりの平均語数

2. 分析項目

総語数

有識者との議論の中で、日本人学習者の多くは一定量の発話をしたり話し続けること、記述することに課題があることがわかりました。限られた時間の中で「どれだけの量をアウトプットできるか」をみる指標として掲載します。スピーキングは、話し終わった時間までの発話量ではなく、解答時間内での発話量をみています。

異なり語数

重複を除いた単語数をみています。たくさん話したり書いたりしていても、同じ語いを繰り返し使用している場合は、異なり語数は増えません。伝えたいことをより効果的に詳細に伝えるためには幅広い表現を用いることが重要です。「様々な語いを使っているか」をみる指標として掲載します。

1文あたりの平均語数 (ライティング)

ライティングについて、総語数を文の数で割って算出しています。接続詞や副詞、関係代名詞などを使用して、「詳しい情報を付け加えられるか」をみる指標として掲載します。

3. 分析方法

「GTEC」スピーキングのパートDは、「意見」、「理由」、「語い・文法」、「発音・流暢さ」の観点で採点しています。CEFRレベルは、パートA～Dの採点結果を元に項目応答理論（IRT）を用いて算出したスコアから判定しています。今回の分析では、パートDの解答データについて「総語数」と「異なり語数」の項目で各CEFRレベルの傾向を掲載しています。CEFRレベルはパートDの解答のみで判定しておりませんので、ご了承ください。

「GTEC」ライティングのパートBは、「意見」、「理由」、「語い」、「文法」、「構成・展開」の観点で採点しています。CEFRレベルは、パートAとパートBの採点結果を元に項目応答理論（IRT）を用いて算出したスコアから判定しています。今回の分析では、パートBの解答データについて「総語数」、「異なり語数」、「1文あたりの平均語数」の項目で各CEFRレベルの傾向を掲載しています。CEFRレベルはパートBの解答のみで判定しておりませんので、ご了承ください。

使用したデータ

今回の分析結果は、8,532人のスピーキングの解答音声データ、53,268人のライティングの答案画像データを、それぞれ音声認識とOCR（光学文字認識）によりテキスト化した解答データに基づいています。問題起因による分析結果の偏りを避けるために、問題タイプごとに複数の問題の解答データを使用しました。スピーキングは、英語学習段階の被検者（高校生以外）の解答を使用しました。ライティングは、「GTEC」の本番試験を実際に受検した被検者と、本番ではない試験を受検した英語学習段階の被検者（高校生以外）の解答を含みます。

技能	タイプ	問題数	受検者人数 (合計)	
スピーキング	Advanced	5	4,716	計 8,532 人
	Core	4	3,816	
ライティング	Advanced	3	27,273	計 53,268人
	Basic	3	16,673	
	Core	3	9,322	

- 今回の分析では複数の問題を使用していますが、出題のテーマによってアウトプットは異なるため、分析結果はあくまで参考としてご覧ください。
- スピーキングのAdvancedタイプとBasicタイプは同じテスト問題です。今回の分析では、Advancedタイプの受検者の解答を使用しています。
- 各分析項目において、語いや文法が正しく使われているかどうかはみていません。
- 音声認識と文字認識の精度は100%ではありません。
- 必ずしも提示している情報（語数など）を話したり書いたりすれば、該当のCEFRレベルを得ることができるといったわけではありませんので、ご注意ください。
- 採点基準の詳細は、「GTEC」公式ホームページをご覧ください。
<https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/scoring/>

4. 分析結果の見方

代表解答例

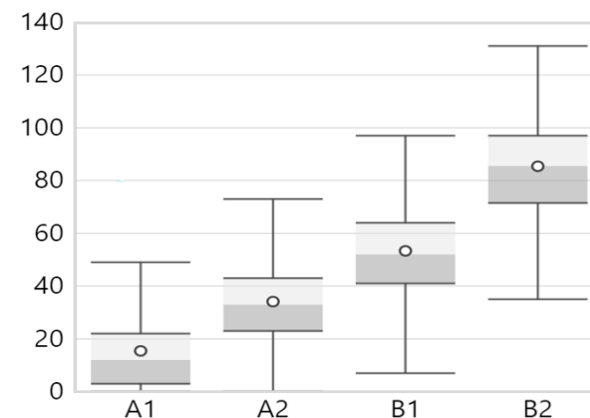
各CEFRレベルの解答例と傾向を掲載します。解答例には、意図的に英語の誤りを含めていることがあります。「GTEC」の本番試験を受検した被検者（高校生）の解答ではありませんが、英語学習段階の被検者が実際に話したり書いたりした内容です。解説なしのスライドと解説付きのスライドを用意しています。これらの解答例を授業で提示して、レベル間の違いや、わかりづらい点と改善点などを議論いただくことも可能です。

箱ひげ図

四分位数（データを小さい順に並べて4等分したもの）をもとに作成しています。縦線の下側の末端が最小値、縦線の上側の末端が最大値を表しています。中央の箱は、下限が第2四分位（25%）、上限が第3四分位（75%）を表しており、箱内の横線が中央値です。「○」は平均を表しています。

CEFRごとの傾向

箱ひげ図の中央の箱の下限（第2四分位：25%）から上限（第3四分位：75%）を表示しています。数値は四捨五入しています。問題タイプ（Advanced/Basic/Core）によって、出題の難易度が異なります。各CEFRレベルに対応する傾向の数値は、問題タイプにより異なりますので、ご注意ください。



CEFR	傾向※
A1	3 ~ 22 語
A2	23 ~ 43 語
B1	41 ~ 64 語
B2	72 ~ 97 語

代表解答例

A2

My opinion is universities should have interviews because tests are writing skill only. But interview is speaking skill...(沈黙) can ...(沈黙) see ...(沈黙) speaking is skill is important for universities.

B1

I think universities should have interviews as well as tests to choose new students. The reason is test cannot measure the students' skill the students' all skill, interviews can ...(沈黙) measure another skills such as communication skills. And communication skills is important near the future so I think universities should have interviews as well as tests to choose new students.

B2

I strongly agree with the statement that the universities should have interviews to enroll to let the students enroll in the universities. This is because universities cannot measure students by only the exam. If they have an opportunity to talk to the students directly, they will know how they are thinking about their future and also their motivation to the study. So it would be a great chance to examine if the student is really suitable for the school so I believe that interviews are very necessary to enter the universities.

代表解答例（解説付き）

A2

My opinion is universities should have interviews because tests are **writing skill** only. But interview is **speaking skill**...(沈黙) can ...(沈黙) see ...(沈黙) **speaking is skill** is important for universities.

B1

I think universities should have interviews as well as tests to choose new students. The reason is test cannot measure the students' skill the students' **all skill**, interviews can ...(沈黙) measure **another skills such as communication skills**. And **communication skills** is important near the future so I think universities should have interviews as well as tests to choose new students.

B2

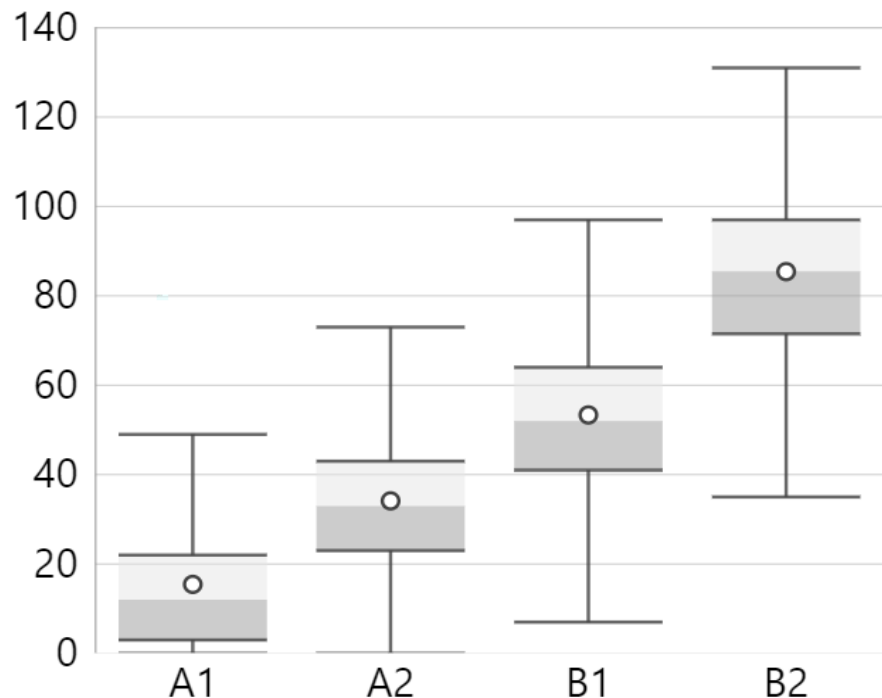
I **strongly agree** with the statement that the universities should have interviews to enroll to let the students **enroll** in the universities. This is because universities cannot **measure** students by only the exam. If they have an opportunity to talk to the students directly, they will know **how they are thinking about their future and also their motivation to the study**. So it would be a great chance to **examine** if the student is really suitable for the school so I **believe** that interviews are very necessary to **enter** the universities.

A2の解答例では、自分の意見とシンプルな理由のみを述べており、全体的に発話が少ない。また、skillという単語が、アイデアの深まりがないまま繰り返されている（黄ハイライト）。

B1の解答例では、skillの描写がやや詳しくなり（青ハイライト）、全体の発話量も増えている。

B2の解答例では、理由についてより詳しい説明ができており、発話の内容が複雑になっている（紫ハイライト）。より長めの発話となり、表現の言い換えもみられ（赤矢印）、豊富で幅広い語いを使用できている。

総語数



CEFR

傾向*

A1	3 ~ 22 語
A2	23 ~ 43 語
B1	41 ~ 64 語
B2	72 ~ 97 語

※左図の箱の下限の数値～上限の数値

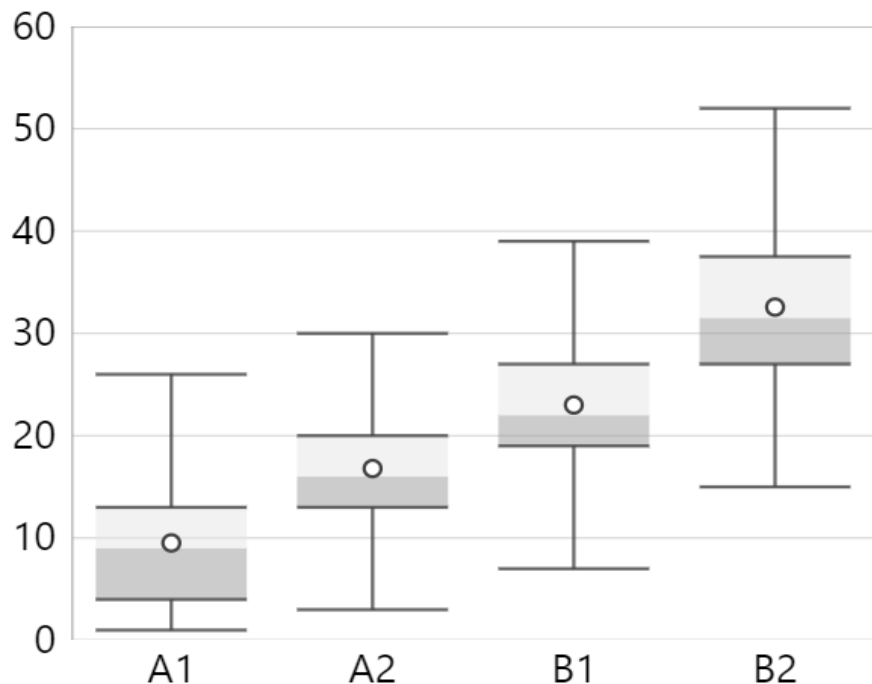
例： I think universities should have interviews to choose new students.
(総語数：10語)

CEFRレベルが上がるにつれて発話の量（総語数）が増えており、特にB1とB2との間で差がみられた。

A1からA2への指導・学習においては、まずはシンプルな文の組み立てでよいので、意見と簡単な理由を話すことを目指したい。

B1からB2への指導・学習においては、理由を具体例を含めて詳しく話すことを目指したい。自分の体験や身近な事例などを交えながら説得力のある説明をしたり、1分間話し続ける活動を取り入れたりするとよいだろう。

異なり語数



CEFR	傾向*
A1	4 ~ 13 語
A2	13 ~ 20 語
B1	19 ~ 27 語
B2	27 ~ 37 語

※左図の箱の下限の数値～上限の数値

例：I... I think... I think universities should have interviews.
 (異なり語数：6語)

CEFRレベルが上がるにつれて、様々な語いを用いて発話ができるようになっており、特にB1とB2との間で差がみられた。まずは発話量を増やすことを心掛け、特にB2を目指す段階では、同じ語いや課題文の英文に含まれる表現の繰り返しを避けるように心掛けたい。これまでに習った様々な語いを実際に使って話すことができるように、日頃から発話の練習をするとよいだろう。自分の発話を録音して言い換えができる表現を探したり、他の人の表現を参考にしたりするなどの活動を通して、話すために使える語いを増やすことを意識したい。

代表解答例

Pre-A1

Internet. Google Searching. Uh...

A1

I usually buy something on the Internet. That's why. I don't have to go out to buy something. I usually buy something on the Internet.

A2

I usually watch movies on the Internet. Because and I like watch movies and very interesting to to do it. So for example we I'm watched an animal movie last weekend. So it is very fun.

代表解答例（解説付き）

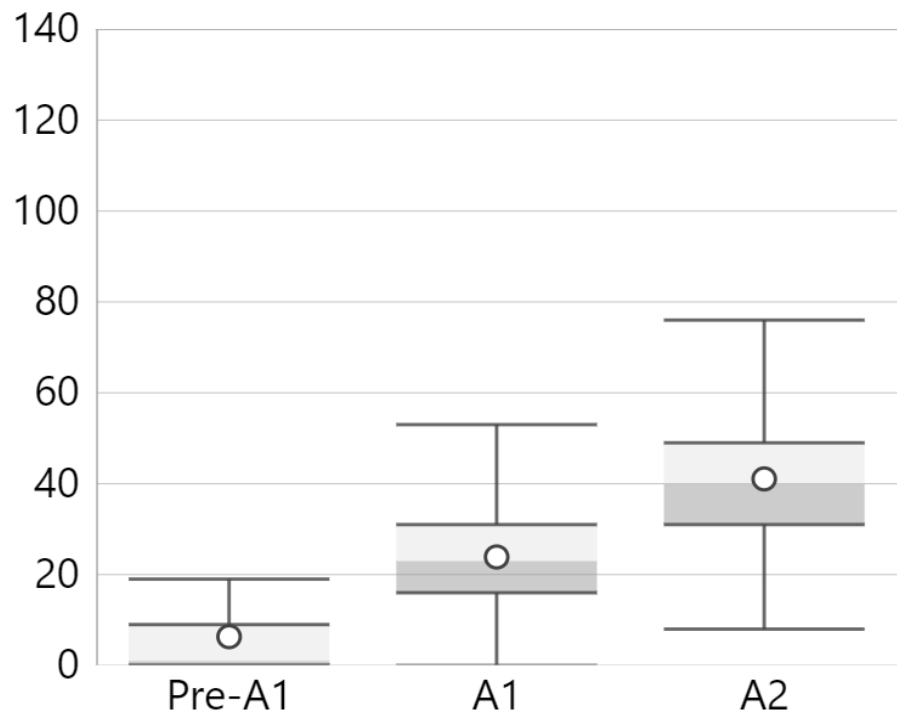
Pre-A1	A1	A2
<p>Internet. Google Searching. Uh...</p>	<p>I usually buy something on the Internet. That's why. I don't have to go out to buy something. I usually buy something on the Internet.</p>	<p>I usually watch movies on the Internet. Because and I like watch movies and very interesting to to do it. So for example we I'm watched an animal movie last weekend. So it is very fun.</p>

Pre-A1レベルでは、無回答やいくつかの単語を発話する程度にとどまり、文で解答することが難しい。

A1レベルでは、課題文の英文に含まれる単語を用いながら、意見と簡単な理由を話すことができるようになる。しかし、解答例のように、同じ表現の繰り返しや（**緑ハイライト**）、表現の乏しさがみられる。

A2レベルになると、基本的な文型や語いを用いてシンプルなアイデアを話すことができるようになる。解答例のように、文法の誤りはみられるものの具体例を述べるなどして（**黄ハイライト**）、A1レベルよりも総語数が増加する。

総語数



CEFR	傾向※
Pre-A1	0 ~ 9 語
A1	16 ~ 31 語
A2	31 ~ 49 語

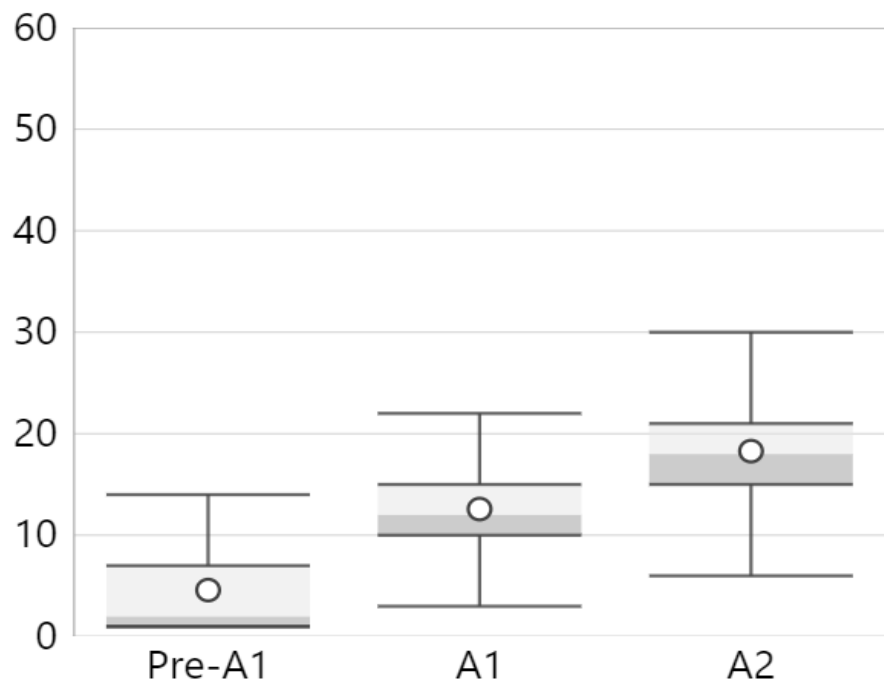
※左図の箱の下限の数値～上限の数値

例： I think universities should have interviews to choose new students.
(総語数：10語)

CEFRレベルが上がるにつれて発話の量が増えている。発話量を増やせるように、日頃から発話の練習を行いたい。
Pre-A1レベルでは、単語レベルの発話を、簡単なセンテンスレベル (S + V) の発話にすることを目指したい。
A1レベルでは、単文の発話を接続詞でつなげて、簡単なアイデアをシンプルな英語で表現することを目指したい。

ピクチャーカードを用いた指導案を「CEFR別英語指導案」のP.3～6に掲載しています。詳細は「GTEC」公式ホームページをご覧ください。
https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/voice/_assets/pdf/all.pdf#view=Fit

異なり語数



CEFR

傾向*

Pre-A1

1 ~ 7 語

A1

10 ~ 15 語

A2

15 ~ 21 語

※左図の箱の下限の数値～上限の数値

例：I... I think... I think universities should have interviews.
(異なり語数：6語)

CEFRレベルが上がるにつれて、様々な語いを使って発話ができるようになっていく。

Pre-A1レベルでは、無回答や、タブレット画面に表示される課題文の繰り返し、“I don’t know”などのフレーズにとどまる解答が多かった。

A1レベルでは、“I like internet. I like game.”など、主語と動詞を用いた簡単な文をいくつか述べるができる。

A2レベルになると、理由を複数の文で話すことができるようになる。CEFRのAレベルにおいては、まずはセンテンスレベルの発話を増やす中で発信語いを多く身につけていき、その後多様な表現や言い換えも伸ばせるとよいだろう。

代表解答例

A2

I think that the advantage of a video game or computer game is that the opportunity of a training. The first reason why I think is that I help keeping a health. So I live in a long time, I play a game. The second reason why I think is that everyone enjoys a game. Old person only enjoys a game. There is no time for moving a body. So training using a game will help to have no time.

B1

One benefit of playing games, except for entertainment, is in some games, we can take a moderate exercise. These days, due to COVID-19, we have few opportunities of getting away from home and also have few time taking exercises. In this point, I believe that we can introduce such games into our daily life. and solve the problem of lack of exercises. For example, some game let us dance in front of the monitor and get score of something like that. Like this, games today will have a good balance between enjoying playing games and taking moderate exercises. This is what I think is one benefit of playing games, apart from its typical benefit of entertainment.

B2

People play video games or computer games for having a fun. That is one of the major benefit of games. However, there is one more beneficial factor that can bring effect to people. Video games and computer games can cultivate human creativity.

You may come up with the example of video game or computer game like "Mario game", but that is not only the major games. There are many games which focus on creating something by yourself. For example, designing house, and building town. These kind of game let users of the game play freely. You can make what you imagine or want to construct. All you have to do is just imagining and expressing it as a figure. It really helps cultivate your creativity and boost your ability to express your own idea.

In conclusion, playing video games or computer games is beneficial because it can enhance human creativity and skill to express your imagination. It is not only enjoying, but strengthen your ability.

代表解答例（解説付き）

A2

I think that the advantage of a video game or computer game is that the opportunity of a training. **The first reason why I think is that** I help keeping a health. So I live in a long time, I play a game. **The second reason why I think is that** everyone **enjoys a game**. Old person only **enjoys a game**. There is no time for moving a body. So training using a game will help to have no time.

B1

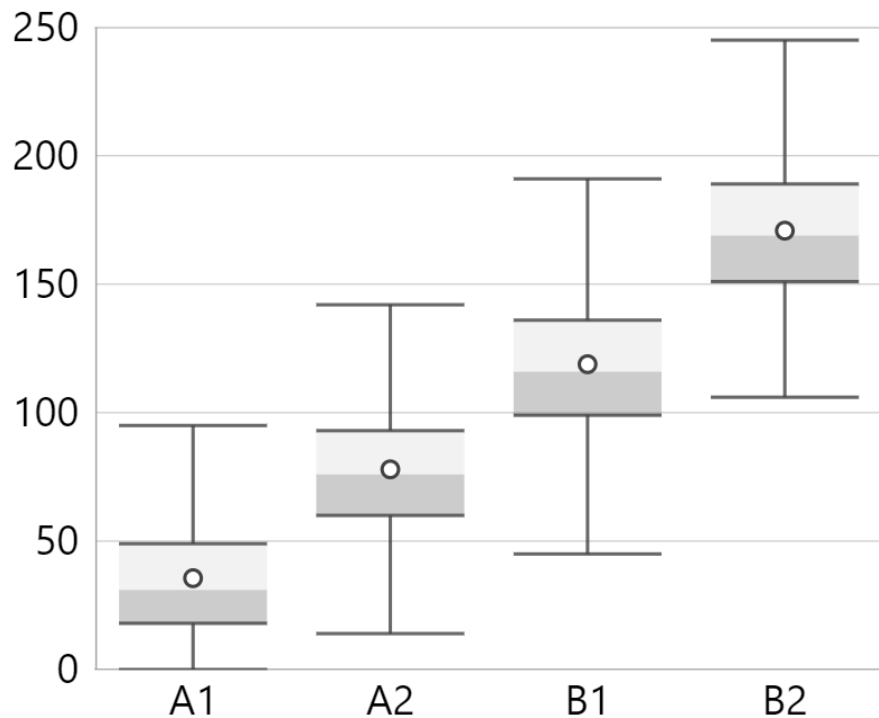
One benefit of playing games, except for entertainment, is in some games, we can take a moderate exercise. These days, due to COVID-19, we have few **opportunities of getting away from home** and also have few time taking exercises. In this point, I believe that we can introduce such games into our daily life. and solve **the problem of lack of exercises**. For example, some game let us dance in front of the monitor and get score of something like that. Like this, games today will have a good **balance between enjoying playing games and taking moderate exercises**. This is what I think is one benefit of playing games, **apart from its typical benefit of entertainment**.

B2

People play video games or computer games for having a fun. That is one of the major benefit of games. However, there is one more **beneficial factor** that can bring effect to people. Video games and computer games can **cultivate** human creativity. You may come up with the example of video game or computer game like "Mario game", but that is not only the major games. There are many games which focus on creating something by yourself. For example, designing house, and **building town**. These kind of game let users of the game play freely. You can make what you imagine or want to **construct**. All you have to do is just imagining and expressing it as a figure. It really helps cultivate your creativity and **boost** your ability to express your own idea. In conclusion, playing video games or computer games is beneficial because it can **enhance** human creativity and skill to express your imagination. It is not only enjoying, but **strengthen** your ability.

A2の解答例では、使用されている語いが比較的平易で、同じ表現の繰り返しがみられる（**黄ハイライト**）。
B1の解答例では、A2よりも幅広い表現を用いて多くの情報を伝えようとする姿勢がみられ（**青ハイライト**）、より長い文を書くことができています。
B2の解答例では、伝えたい内容に応じて、B1よりも洗練された単語（**紫ハイライト**）や文法を織り交ぜながら長い文を書くことや、表現を言い換えることができています（**赤矢印**）。また、文脈に応じて長い句の主語を用いることが出来ており、接続詞に頼らずに段落を構成することができています。

総語数



CEFR

傾向*

A1	18 ~ 49 語
A2	60 ~ 93 語
B1	99 ~ 136 語
B2	151 ~ 189 語

※左図の箱の下限の数値～上限の数値

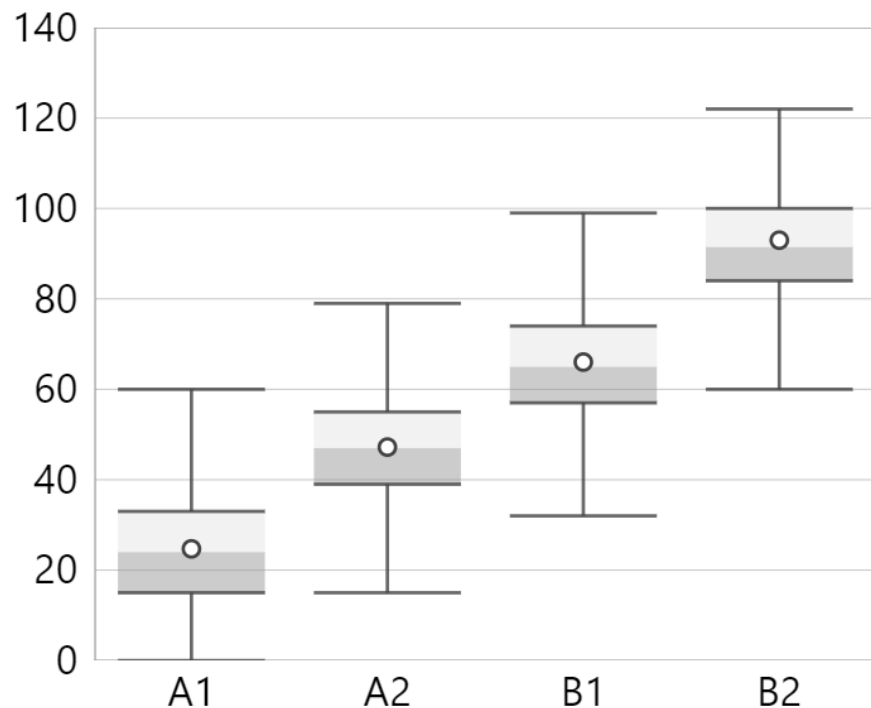
例： I think that it is not good for students to live in dormitories with a roommate.
I feel this way because roommates can annoy or disturb each other.
(総語数：28語)

CEFRレベルが上がるにつれて語数が増えており、特にA1とA2、及びB1とB2との間で総語数に差がみられた。

A1からA2への指導・学習においては、解答時間の20分間でGTECの解答欄の約半分、A2からB1への指導・学習においては、解答欄の約3分の2、B1からB2への指導・学習においては、解答欄の全体を書くことを目指したい。

単純に語数を増やすのではなく、理由を深めることでアウトプットの量を増やしたい。

異なり語数



CEFR

傾向*

A1	15 ~ 33 語
A2	39 ~ 55 語
B1	57 ~ 74 語
B2	84 ~ 100 語

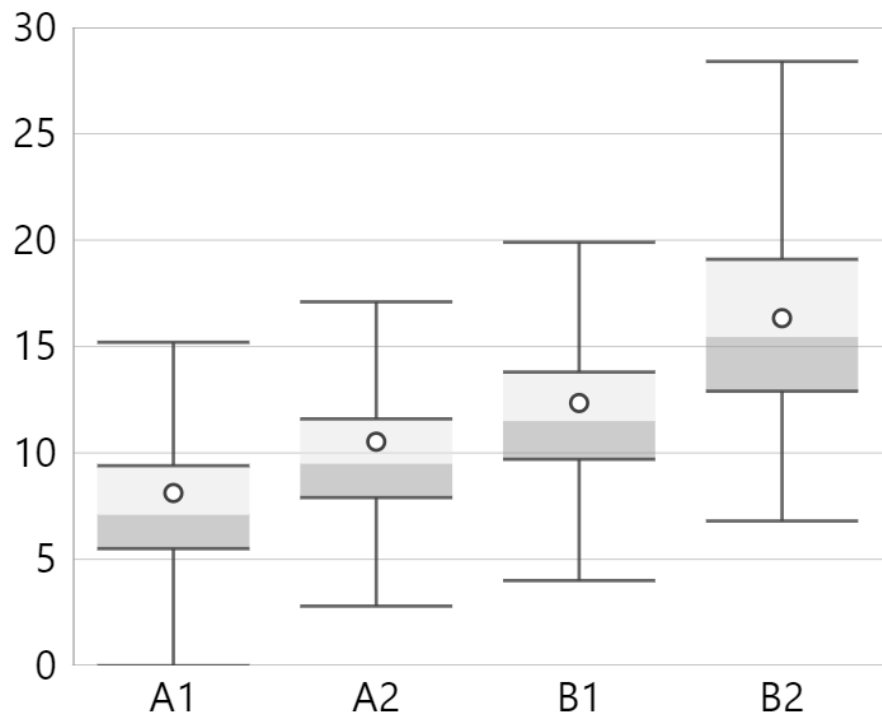
※左図の箱の下限の数値～上限の数値

例： Students should live in dormitories because **students can live safely in dormitories.**
(異なり語数：8語)

CEFRレベルが上がるにつれて、様々な語いを用いて文章を書くことができるようになっている。

1つ上のCEFRレベルを目指すには、まずはアウトプットを増やすことを心掛け、様々な語いや表現を使えるようにしたい。また、エッセーを書き終わった後に書いた内容を見直す時間を設けるようにして、同じ語いや表現の繰り返しがあれば、代名詞や類義語などを用いて繰り返しを避けるようにしたい。

1文あたりの平均語数



CEFR	傾向*
A1	6 ~ 9 語
A2	8 ~ 12 語
B1	10 ~ 14 語
B2	13 ~ 19 語

※左図の箱の下限の数値～上限の数値

例： I think that it is not good for students to live in dormitories with a roommate.
 I feel this way because roommates can annoy or disturb each other.
 (1文め：16語 2文め：12語 1文あたりの平均語数：14語)

CEFRレベルが上がるにつれて、徐々に1文あたりの長さが長くなっている。

A2以上では、2つ以上の節で文が構成されている場合が多かった。A1からA2以上への指導・学習においては、「どのように」「どこで」「いつ」「なぜ」などのより詳しい情報を付け加えたり、接続詞や関係代名詞を使って、意味のつながりが出るように文をつなげたりして英文を書くことを目指したい。

代表解答例

A1

I like tour than alone Because when I have a trip on the tour, I'm be beside tour guide. But I have a trip alone, I'm not be beside. That's why I go to the museaum on tour.

A2

My opinion is that I like to tour in the group. There are three reasons. First, I could be teached by guide. Because I don't know art, he or she tell me the meaning of the art. Second, I could be heard from impressions of other people. If I see the art, I may feel sad, but other person may feel angrey. I could see the art from many points. Third, tour guide is cheaper. This is why, I prefer to tour in groups.

B1

When I visit a museum, I like watching works in tours better than watching individually. There are two reasons why I think so. First, I can listen a lecture from tour guides. They are special for their knowledge about works, so listing them is a precious opportunity. Explanation about the context or character of the work is written on the wall, but it is not enough to understand clearly. Second, I can share my thoughts about works with other people. When I join a tour in a museum, I often communicate with other guests. Sometimes their ideas surprize me, Sharing ideas is good to deepen knowledge or thoughts about works. For these reasons, there are some merits. So I like watching works in tours better than watching individually when I visit a museum.

代表解答例（解説付き）

A1

I like tour than alone Because when I have a trip on the tour, I'm be beside tour guide. But I have a trip alone, I'm not be beside. That's why I go to the museaum on tour.

A2

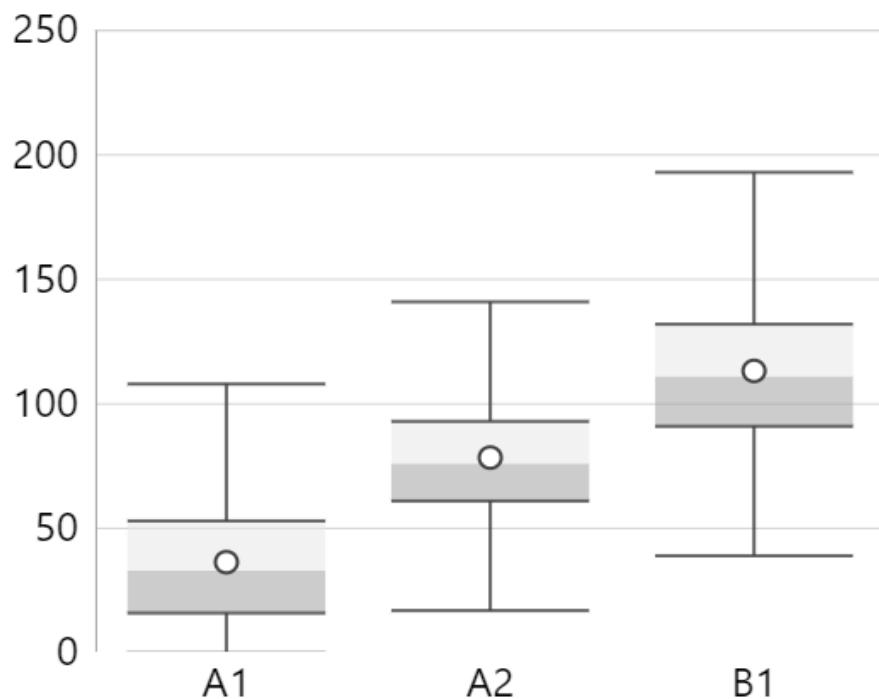
My opinion is that I like to tour in the group. There are three reasons. First, I could be teached by guide. Because I don't know art, he or she tell me the meaning of the art. Second, I could be heard from impressions of other people. If I see the art, I may feel sad, but other person may feel angrey. I could see the art from many points. Third, tour guide is cheaper. This is why, I prefer to tour in groups.

B1

When I visit a museum, I like watching works in tours better than watching individually. There are two reasons why I think so. First, I can listen a lecture from tour guides. They are special for their knowledge about works, so listing them is a precious opportunity. Explanation about the context or character of the work is written on the wall, but it is not enough to understand clearly. Second, I can share my thoughts about works with other people. When I join a tour in a museum, I often communicate with other guests. Sometimes their ideas surprize me, Sharing ideas is good to deepen knowledge or thoughts about works. For these reasons, there are some merits. So I like watching works in tours better than watching individually when I visit a museum.

A1の解答例では、使われている語いや文法が限定的で、表現に誤りを含むため、意図した内容が伝わりづらい箇所がみられる（緑ハイライト）。
 A2の解答例では、語いや文法の誤りは含まれるものの、自分の意見をサポートする理由や例を伝えようとしており、A1よりも語数が増えていることがわかる（黄ハイライト）。
 B1の解答例では、A2よりも使われている語いや文法の種類が増えている。アイデアを詳細に伝えられており、内容にまとまりがみられる（青ハイライト）。

総語数



CEFR

傾向※

A1	16 ~ 53 語
A2	61 ~ 93 語
B1	91 ~ 132 語

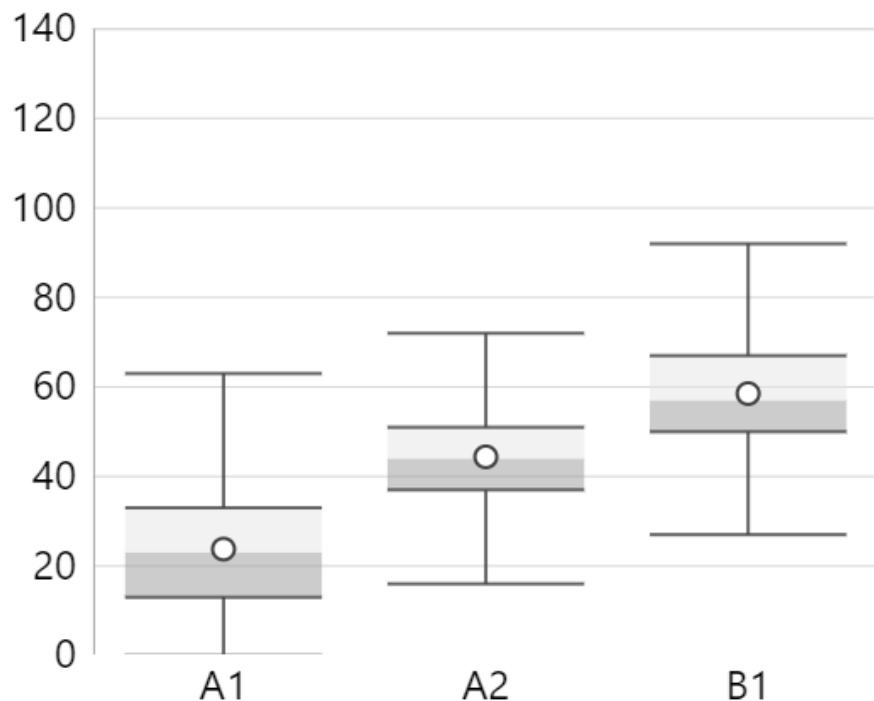
※左図の箱の下限の数値～上限の数値

例： I think that it is not good for students to live in dormitories with a roommate.
I feel this way because roommates can annoy or disturb each other.
(総語数：28語)

CEFRレベルが上がるにつれて、総語数が増えていることがわかった。

A1からA2への指導・学習においては、解答時間の20分間でGTECの解答欄の約半分、A2からB1への指導・学習においては、解答欄の約3分の2を書くことを目指したい。単純に語数を増やすのではなく、理由を深めることでアウトプット量を増やしたい。

異なり語数



CEFR

傾向*

A1	13 ~ 33 語
A2	37 ~ 51 語
B1	50 ~ 67 語

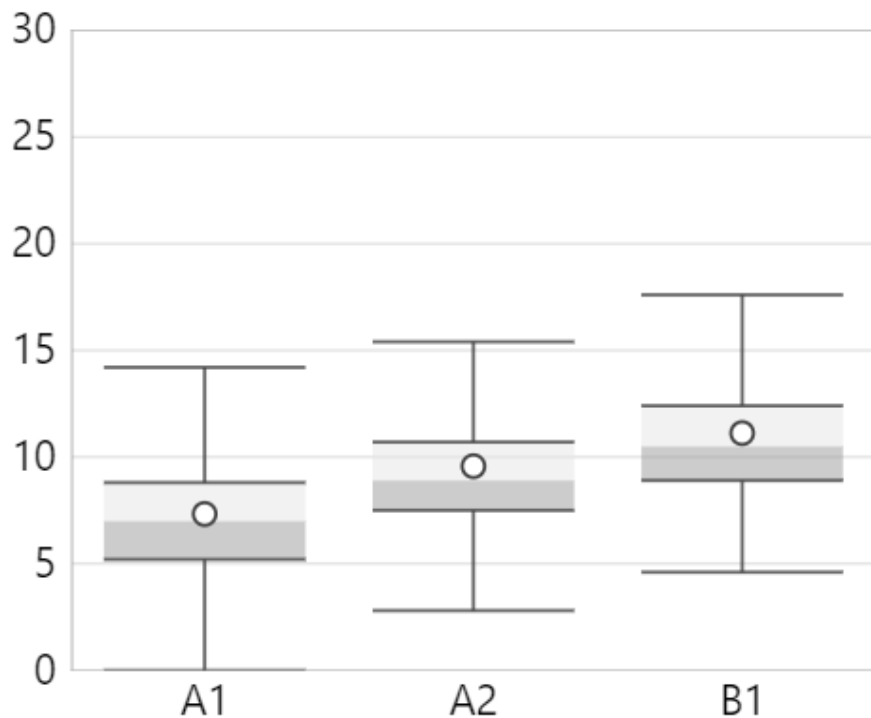
※左図の箱の下限の数値～上限の数値

例： Students should live in dormitories because **students can live safely in dormitories.**
 (異なり語数：8語)

CEFRレベルが上がるにつれて、様々な語いを用いて文章を書くことができるようになっていく。

1つ上のCEFRレベルを目指すには、まずはアウトプットを増やすことを心掛け、様々な語いや表現を使えるようにしたい。また、エッセーを書き終わった後に書いた内容を見直す時間を設けるようにして、同じ語いや表現の繰り返しがあれば、代名詞や類義語などを用いて繰り返しを避けるようにしたい。

1文あたりの平均語数



CEFR

傾向*

A1

5 ~ 9 語

A2

8 ~ 11 語

B1

9 ~ 12 語

*左図の箱の下限の数値~上限の数値

例： I think that it is not good for students to live in dormitories with a roommate.
 I feel this way because roommates can annoy or disturb each other.
 (1文め：16語 2文め：12語 1文あたりの平均語数：14語)

CEFRレベルが上がるにつれて、徐々に1文あたりの長さが長くなっている。

A2以上では、2つ以上の節で文が構成されている場合が多かった。A1からA2以上への指導・学習においては、「どのように」「どこで」「いつ」「なぜ」などのより詳しい情報を付け加えたり、接続詞や関係代名詞を使って、意味のつながりが出るように文をつなげたりして英文を書くことを目指したい。

代表解答例

Pre-A1

happy everyday very cute room fan

A1

My room is creat. Television, reizoco, eacon, kanyo shokubutsu. want to my room. My room is sinpulu space keep. Becose, creen keep is best room. Sinpule is best.

A2

I want to have a carten. It's important. My room is sunlight. It's very strong sunlight. It's too hot for me to spend my room. My room is small. I don't have a big carten. I want a small carten. It's suitable size. I spend my life for a carten, It's getting colder. I'm very happy. I'm doing my hobby. I'm very happy. The other is cooking bowl. It's convenience to wash the dishes.

代表解答例（解説付き）

Pre-A1

happy everyday very cute room fan

A1

My room is **crear**. Television, **reizoco**, **eacon**, **kanyo**
shokubutsu. want to my room. My room is **sinpulu** space
keep. Becose, **green keep** is best room. **Sinpule** is best.

A2

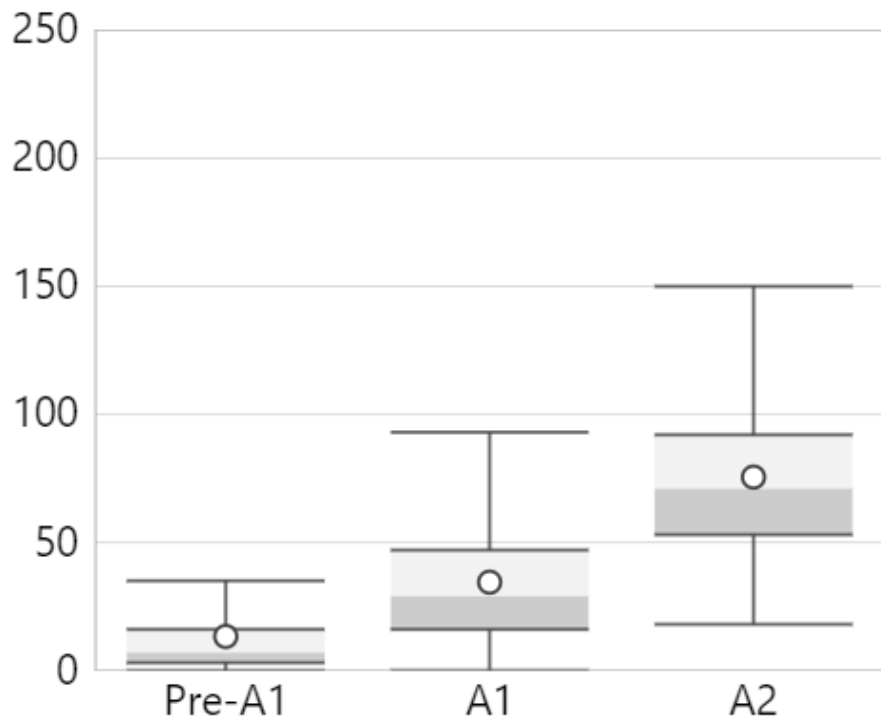
I want to have a carten. It's important. **My room is sunlight.**
It's very strong sunlight. It's too hot for me to spend my
room. My room is small. **I don't have a big carten. I want a**
small carten. It's suitable size. I spend my life for a carten, It's
getting colder. I'm very happy. I'm doing my hobby. I'm very
happy. The other is cooking bowl. It's convenience to wash
the dishes.

Pre-A1の解答例では、特定の単語を書くことはできるが文を構成できないことがわかる。

A1の解答例では、使われている語いや文法が限定的で、表現に誤りを含むため、意図した内容が伝わりづらい箇所がみられる（**緑ハイライト**）。

A2の解答例では、語いや文法の誤りは含まれるものの、自分の意見をサポートするために文章を産出しようとしており、A1よりも語数が増えていることがわかる（**黄ハイライト**）。

総語数



CEFR

傾向※

Pre-A1	3 ~ 16 語
A1	16 ~ 47 語
A2	53 ~ 92 語

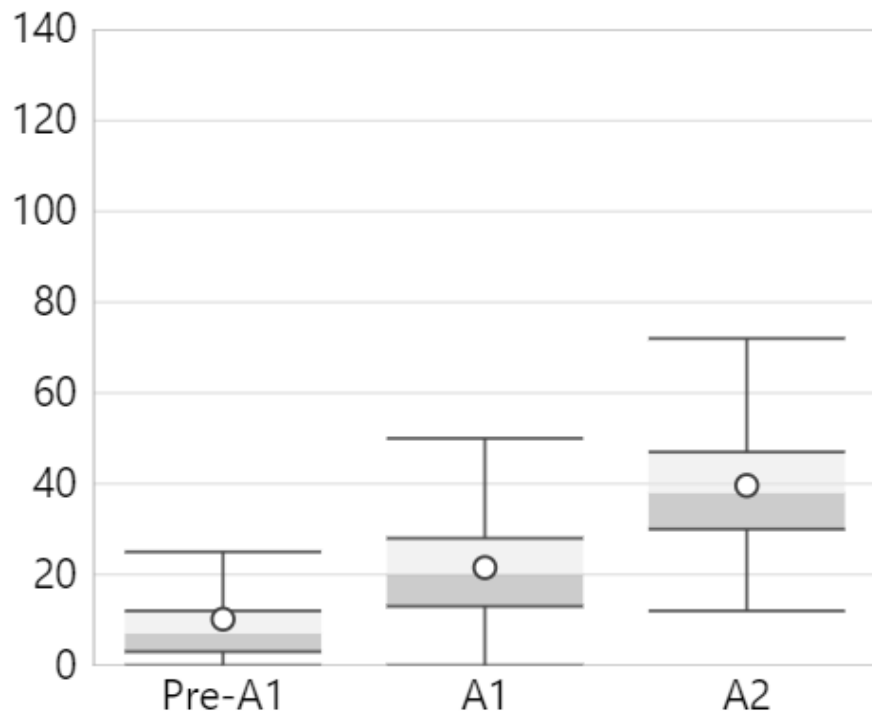
※左図の箱の下限の数値～上限の数値

例： I think that it is not good for students to live in dormitories with a roommate.
I feel this way because roommates can annoy or disturb each other.
(総語数：28語)

CEFRレベルが上がるにつれて、1枚あたりの語数が増えていることがわかった。

A1からA2への指導・学習においては、解答時間の20分間でGTECの解答欄の約半分を書くことを目指したい。単純に語数を増やすのではなく、使える単語や表現を組み合わせながら理由を深めることでアウトプット量を増やしたい。

異なり語数



CEFR

傾向*

Pre-A1

3 ~ 12 語

A1

13 ~ 28 語

A2

30 ~ 47 語

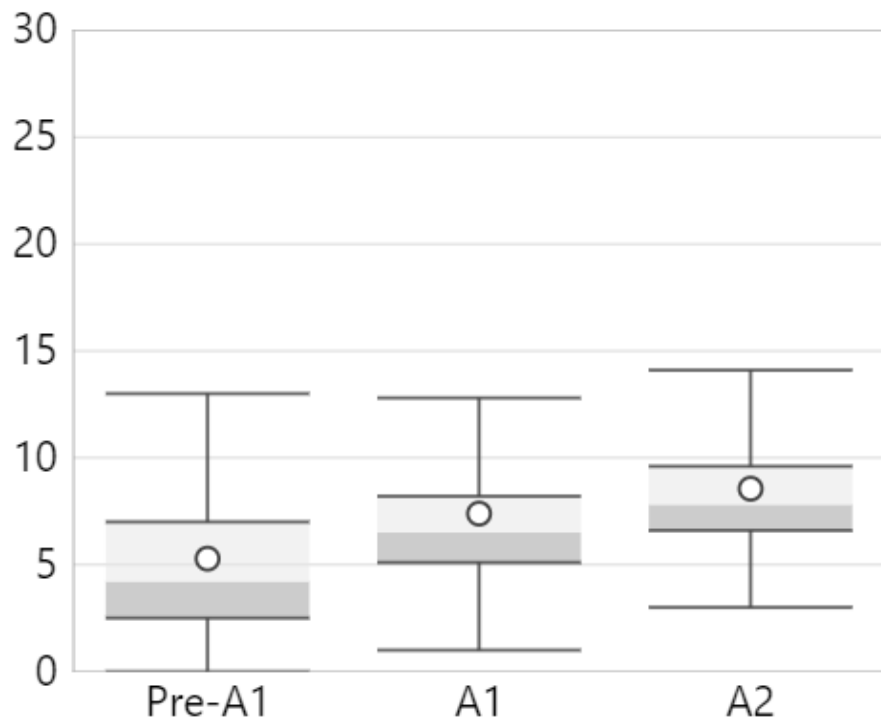
*左図の箱の下限の数値~上限の数値

例： Students should live in dormitories because **students can live safely in dormitories.**
 (異なり語数：8語)

CEFRレベルが上がるにつれて、様々な語いを用いて文章を書くことができるようになっている。

A1からA2への指導では、まずはアウトプットを増やすことを心掛け、その中で実際に使える語いや表現を増やしていけるとよいだろう。

1文あたりの平均語数



CEFR

傾向※

Pre-A1

2 ~ 7 語

A1

5 ~ 8 語

A2

7 ~ 10 語

※左図の箱の下限の数値~上限の数値

例： I think that it is not good for students to live in dormitories with a roommate.
 I feel this way because roommates can annoy or disturb each other.
 (1文め：16語 2文め：12語 1文あたりの平均語数：14語)

CEFRレベルが上がるにつれて、徐々に1文あたりの長さが長くなっている。

A2以上では、2つ以上の節で文が構成されている場合が多かった。A1からA2以上への指導・学習においては、「どのように」「どこで」「いつ」「なぜ」などのより詳しい情報を付け加えたり、接続詞や関係代名詞を使って、意味のつながりが出るように文をつなげたりして英文を書くことを目指したい。

問題サンプル

スピーキング パートD Advancedタイプ

パートDは、あるテーマについて、自分の考えとそう考える理由を述べる問題です。はじめに準備時間が1分あります。解答時間は1分です。

あなたは英語の授業で、次のテーマについて発表することになりました。自分の考えを述べ、その理由を詳しく具体的に説明してください。日本のことを知らない外国人の先生にも伝わるように英語で話してください。

Schools shouldn't allow students to use their cell phones while at school. What do you think about this? State your opinion and give at least one reason with an example or explanation.

ライティング パートB Advancedタイプ

- ・時間は20分です。残り時間が2分になると放送で知らせます。
- ・自分自身の考えや具体的な経験に基づいて、自由に書きなさい。
- ・読み手に自分の主張が効果的に伝わるように書きなさい。
- ・書かれている文の量が少ない場合は、評価が低くなる可能性があります。
- ・示されているテーマの英文を、すべてそのまま書き写した箇所は、「語い」「文法」の評価には含まれません。

あなたは留学先の授業でエッセーを書くことになり、以下のテーマを選びました。このテーマを読んでいない人にも伝わるようにエッセーを書きなさい。

エッセーのテーマ：

Recently, many young people have been losing interest in reading. Do you think this is a good thing or a bad thing for society?

State your opinion and explain why.

上記サンプル問題のテーマは、本ファイルでご提示した解答代表例のテーマとは異なります。